

13 いわたの住まいがスター☆を育てる！

岩手型住宅とは

★ 岩手型住宅の普及

県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた
岩手型住宅の建築を支援しています！

「さらなる省エネ性能」を持ち、

県産木材の活用などの「岩手らしさ」を

考慮した住宅です。



さらなる省エネ性能

冬の寒さの厳しい岩手において、室内の温かさを維持し、快適で健康的な生活を送るために、「断熱等性能等級6」をクリアする省エネ性能を推奨します。すきま風のない高気密住宅にすることも重要です。

岩手県は「断熱等性能等級6以上」をスタンダードに。
断熱等性能等級とは、住宅性能表示制度における基準で、地域の区分ごとに外皮平均熱貫流率（UA値）等が設定されており、等級が高いほど省エネ性能が高いことを示します。

UA値（W/㎡・K）【外皮平均熱貫流率】 C値（cm/㎡）相当隙間面積
等級6 0.28～0.34（2～4地域）以下 1.0以下
等級7 0.20～0.23（2～4地域）以下

UA値（外皮平均熱貫流率）とは
住宅の内部から屋根、天井、外壁、床、開口部などを通過して外部へ逃げる熱量を外皮全体で平均した値で、数値が小さいほど、省エネ性能が高いことを示します。

C値（相当隙間面積）とは
C値は、気密性を示す指標であり、住宅全体にある隙間の面積（cm）を延べ面積（㎡）で割った値です。数値が小さいほど気密性が高いことを示します。



岩手らしさ

県産木材の活用

カーボンニュートラルや地域産業の振興に資する県産木材の活用を推進します。



出典：いわてに残したい景観

地域性への配慮

地域の歴史・風土と調和した住環境を形成するよう、地域性への配慮を推奨します。

岩手において快適で健康的な暮らしを実現する
住宅の普及を促進していきます。



★ 住みたい岩手の家づくり促進事業 ★ 【令和7年度事業の概要】

	対象住宅（主な条件）
新 築	★ 木造一戸建て住宅（二世帯住宅・併用住宅を含む） ★ ZEH+水準（断熱等対策等級6以上）または バリアフリー基準（高齢者等配慮等級3） ★ 県産木材を使用（構造材等の部分に10m³以上 または 仕上材等の部分に20m²以上）
リフォーム	★ 耐震基準に適合（リフォーム後の適合も可） ★ 省エネ基準（断熱等対策等級4）または バリアフリー基準（高齢者等配慮等級3） ★ 県産木材を使用（構造材等の部分に10m³以上 または 仕上材等の部分に20m²以上）